

# 財政のあらまし

令和3年6月

本書は、予算・決算など市の財政事情を市民のみなさんにお伝えする資料です。毎年6月と12月の年2回作成しています。今回の令和3年6月号では、令和3年度当初予算の概要と、令和2年度下半期（令和2年10月1日から令和3年3月31日まで）の財政運営の状況についてご説明いたします。

# 目次

## I. 令和3年度当初予算のあらまし

1	令和3年度予算について……………	1
2	予算の概要……………	2

## II. 令和2年度下半期における財政運営の状況について

1	補正予算のあらまし……………	3
2	市民負担の状況……………	3
3	一時借入金の状況……………	3
4	予算の執行状況……………	4
5	企業会計の業務状況……………	5
6	市有財産の状況……………	6
7	市債の状況……………	7

# I 令和3年度当初予算のあらまし

1

## 令和3年度予算について



新型コロナウイルス感染症の出現により、神戸はもとより世界中の風景が一変しました。今現在も増え続けている感染症に対応するため、医療従事者の皆様は昼夜を問わず患者の治療や予防に当たっておられます。また、多くの事業者や市民の皆様におかれては、営業時間の短縮や不要不急の外出自粛にご協力いただいております。神戸市政は新型コロナウイルスワクチンの接種をはじめ、感染拡大を一日も早く抑え、市民の皆様の命と健康を守り、そして神戸経済を回復させることに全力で取り組んでまいります。

阪神・淡路大震災から26年が経過し、市民の皆様とともに震災という大きな危機を乗り越えてきました。しかしながら、現在、人口減少や超高齢社会、東京一極集中への対応といった新たな課題に直面しており、withコロナ時代、さらにポスト・コロナ時代に対応しつつ、スピード感をもって取り組む必要があります。

未来の世代が過度な負担を背負い込むことがないよう、堅実な成長戦略により、さらなる都市の成長を促すという好循環を創出していくべく、令和の時代に間違いなく進化するテクノロジーを取り入れながら、持続可能な大都市経営を行ってまいります。

ひさもと きぞう  
神戸市長 久元喜造

### 7つの柱

- 1 新型コロナウイルス感染症対策へ取り組む
- 2 健康・安全を守る
- 3 輝く子どもたちの未来を創る
- 4 神戸経済を伸ばす
- 5 街と地域を創る
- 6 陸・海・空の拠点を創る
- 7 市政改革を進める

## 2

## 予算の概要

### 令和3年度当初予算額

	令和3年度	令和2年度	対前年比
一般会計	8,703億6,100万円	8,387億 900万円	316億5,200万円
特別会計	6,535億4,100万円	6,708億1,900万円	△172億7,800万円
企業会計	3,292億1,100万円	3,496億6,700万円	△204億5,600万円
総額	1兆 8,531億1,300万円	1兆 8,591億9,500万円	△60億8,200万円

※ 各会計の詳細については、神戸市のホームページで、「当初予算の概要」をご覧ください。

#### (1) 一般会計

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復、公共空間のリノベーションや経済基盤の構築など暮らしと都市の価値を高めるまちづくりなど、市民の命と健康を守り、withコロナの新時代をリードする施策を積極的に計上した。

#### (2) 特別会計

超高齢社会の進展に伴い介護保険事業費や後期高齢者医療事業費が増加した一方で、第2次市営住宅マネジメント計画の事業進捗に伴い市営住宅事業費が減少した。

#### (3) 企業会計

北神急行線の資産取得の完了等により高速鉄道事業会計が、企業債償還の減少等により下水道事業会計が、それぞれ減少した。

### 用語の解説

- ◆一般会計 福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計（財布）です。主に市税や地方交付税などによってまかなわれます。
- ◆特別会計 特定の事業を特定の歳入によって実施するための会計の総称です。一般会計から切り離して整理することで、個々の事業の収支や運営実績が明確になります。国民健康保険事業費や介護保険事業費、市営住宅事業費など、本市では11会計あります。
- ◆企業会計 地方公共団体が直接、社会公共の利益を目的として経営する地方公営企業の会計の総称で、主に利用者のみなさんが支払う料金収入で事業を行います。交通事業や上下水道事業など、本市では7会計あります。

## Ⅱ 令和2年度下半期における 財政運営の状況について

### 1 補正予算のあらまし

令和2年度上半期（令和2年4月～令和2年9月）と下半期（令和2年10月～令和3年3月）における補正予算額、および現計予算額は次のとおりとなっています。

（単位：百万円）

	当初予算額	補正予算額 （上半期）	補正予算額 （下半期）	現計予算額
一般会計	838,709	186,213	37,482	1,062,404
特別会計	670,819	1,558	6,516	678,893
企業会計	349,667	15	6,563	356,245
全会計	1,859,195	187,786	50,561	2,097,542

### 2 市民負担の状況

一般会計歳入予算 8,387億900万円のうち市民のみなさんの直接負担となる市税の令和2年度当初予算額は、3,063億5,730万円で歳入予算全体の36.5%になります。

これを令和3年3月1日現在の世帯数（725,924世帯）及び人口（1,513,193人）で割りますと、

1世帯あたり 422,024円

1人あたり 202,458円 となります。

### 3 一時借入金の状況

令和3年3月末における一時借入金の現在高は、次のとおりとなっています。

（単位：億円）

会計	借入限度額	現在高	
一般会計	900	-	
企業会計	下水道事業会計	10	
	港湾事業会計	200	
	新都市整備事業会計	200	
	自動車事業会計	27	11
	高速鉄道事業会計	188	-
	水道事業会計	30	-
	工業用水道事業会計	7	-
合計	1,562	11	

（注）特別会計の一時借入金はありません。

## 4

## 予算の執行状況

令和3年3月末現在における一般会計、特別会計の執行状況は次のとおりとなっています。

## ■ 歳入

(単位：百万円、%)

区分	予算現在額	収入額			収入率
		上半期	下半期	合計	
一般会計	1,111,208	604,313	349,457	953,770	85.8
特別会計	686,721	156,119	262,363	418,482	60.9
市場事業費	4,576	724	987	1,711	37.4
食肉センター事業費	945	96	112	208	22
国民健康保険事業費	159,125	47,105	84,250	131,355	82.5
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	166	182	75	257	154.8
駐車場事業費	1,186	489	374	863	72.8
農業集落排水事業費	1,495	40	64	104	7.0
市街地再開発事業費	7,219	536	217	753	10.4
市営住宅事業費	45,159	6,984	12,647	19,631	43.5
介護保険事業費	150,576	57,822	65,959	123,781	82.2
後期高齢者医療事業費	41,628	8,843	10,526	19,369	46.5
公債費	274,646	33,298	87,152	120,450	43.9

## ■ 歳出

(単位：百万円、%)

区分	予算現在額	執行額			執行率
		上半期	下半期	合計	
一般会計	1,111,208	442,317	307,082	749,399	67.4
特別会計	686,721	287,717	306,134	593,851	86.5
市場事業費	4,576	859	1,888	2,747	60.0
食肉センター事業費	945	214	274	488	51.6
国民健康保険事業費	159,125	45,929	86,674	132,603	83.3
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	166	51	48	99	59.6
駐車場事業費	1,186	390	338	728	61.4
農業集落排水事業費	1,495	241	98	339	22.7
市街地再開発事業費	7,219	324	503	827	11.5
市営住宅事業費	45,159	9,164	8,985	18,149	40.2
介護保険事業費	150,576	59,209	74,341	133,550	88.7
後期高齢者医療事業費	41,628	16,345	20,316	36,661	88.1
公債費	274,646	154,991	112,669	267,660	97.5

(注) 3月末日の執行状況であるため、決算額とは異なります。

会計別	業務の予定量（3月補正後）
下水道事業会計	(1) 下水及びし尿処理 : 下水処理量 509,000m <sup>3</sup> /日 し尿処理量 85m <sup>3</sup> /日 (2) 汚水中継及び雨水排除 : 汚水中継量 72,758m <sup>3</sup> /日 雨水排除量 9,983,422m <sup>3</sup> /年
港湾事業会計	(1) 港湾管理 : 岸壁 5,800万 t 物揚場 20万 t 埠頭用地 専用 1億7,200万m <sup>2</sup> 、一般 6,100万m <sup>2</sup> 港湾幹線道路 700万台 入港料対象船舶 1億5,700万 t (2) 港湾施設運営 : 上屋 専用 4,100万m <sup>2</sup> 、一般 3,300万m <sup>2</sup> 荷役機械 500回/30分 船舶給水 21万m <sup>3</sup>
新都市整備事業会計	土地売却量 : ポートアイランド（第2期） 20,200m <sup>2</sup> ポートアイランド沖 5,600m <sup>2</sup> 西神住宅第2団地 29,600m <sup>2</sup> 研究学園都市 200m <sup>2</sup> 神戸複合産業団地 16,000m <sup>2</sup>
自動車事業会計	(1) 運転車両数 : 161,169両/年、442両/日 (2) 運転キロ : 17,293,664km/年、47,380km/日 (3) 輸送人員 : 65,304,489人/年、178,916人/日
高速鉄道事業会計	(1) 運転車両数 : 69,650両/年、191両/日 (2) 運転キロ : 21,840,121km/年、59,836km/日 (3) 輸送人員 : 118,600,910人/年、324,934人/日
水道事業会計	(1) 給水量 : 170,424,000m <sup>3</sup> /年、466,915m <sup>3</sup> /日 (2) 給水戸（箇所）数 : 815,732戸（箇所）
工業用水道事業会計	(1) 給水量 : 17,954,735m <sup>3</sup> /年、49,191m <sup>3</sup> /日 (2) 給水工場数 : 72工場

## 6

## 市有財産の状況

財産とは、公有財産、物品、債券および基金です。このうち、公有財産とは、市が所有している財産で、土地、建物、船舶、航空機、地上権、有価証券、出資による権利などの財産をいいます。

令和3年3月31日現在、地方公営企業法適用事業（下水道・港湾・新都市整備・自動車・高速鉄道・水道・工業用水道の7事業）を除いた財産の現在高は次のとおりです。

令和3年3月31日現在

種 類	数 量			備 考		
	単位	行政財産	普通財産		計	
公有財産	土地	m <sup>2</sup>	41,252,594	24,894,590	66,147,184	
	建物	延m <sup>2</sup>	6,666,983	465,111	7,132,094	
	立木	m <sup>3</sup>	—	143,769	143,769	
	船舶	隻	1	—	1	消防艇
	浮棧橋	基	1	—	1	
	航空機	機	2	—	2	ヘリコプター
	地上権	m <sup>2</sup>	1,763	1,420	3,183	
	地役権	m <sup>2</sup>	15,374	—	15,374	
	温泉権	件	9	1	10	銀泉、しあわせの村温泉等
	無体財産権	件	—	52	52	えがおの窓口、神戸ウイングスタジアム商標権等
	有価証券	千円			13,353,650	関西国際空港土地保有株式会社株券等
	出資による権利	千円			258,273,022	日本高速道路保有・債務返済機構出資金等
	物品	点			7,754	
債権	千円			86,810,651		
基金	千円			350,773,975		

(注) 数量は速報値のため、決算とは異なる場合があります。

※繰替運用の残高

(千円)

基金名	運用残高	内 容
神戸市公債基金	2,286,597	一般会計財源対策資金等
神戸市市民福祉振興等基金	1,290,000	有料老人ホーム「サン舞子マンション」建設資金等
神戸市営住宅敷金等積立基金	673,604	鹿の子台南住宅取得資金等
合 計	4,250,201	

## 用語の解説

- ◆行政財産 庁舎、事務所、学校、公園など、公用または公共用に利用される財産
- ◆普通財産 行政財産以外のすべての公有財産



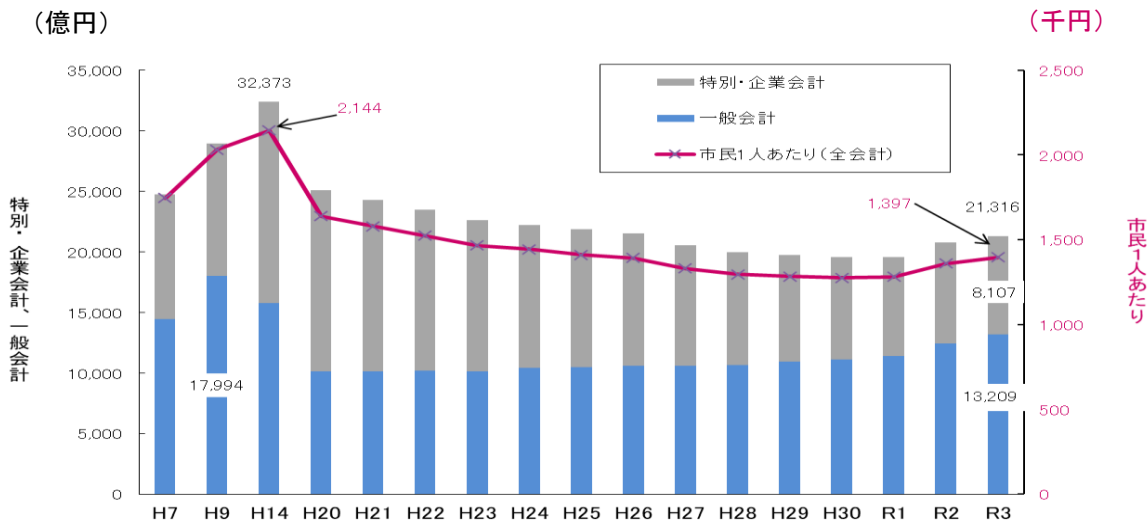
市民生活や産業振興などに必要な都市施設の整備や、安全で安心なまちづくりを進めるために市債を発行しています。事業の優先順位を明確化し、施策の重点化を行うことによって、将来世代に大きな負担を残さないよう、市債残高の管理に努めています。

### ■ 市債残高見込み（令和3年度当初予算）

（単位：億円）

会 計	令和2年度末 現在高見込額	令和3年度中増減見込額		令和3年度末 現在高見込額
		発行予定額	元金償還額	
一 般 会 計	12,419	790	1,304	13,209
特 別 会 計	1,761	△ 3	159	1,758
市営住宅事業	943	△ 31	43	912
その他	818	28	116	846
企 業 会 計	6,581	△ 232	408	6,349
下水道事業	1,497	53	121	1,550
港湾事業	2,201	△ 13	136	2,188
新都市整備事業	785	△ 283	-	502
自動車事業	77	9	12	86
高速鉄道事業	1,738	15	131	1,753
水道事業	239	△ 18	-	221
工業用水道事業	44	5	8	49
借 換 債	-	-	544	-
合 計	20,761	555	2,415	21,316

### ■ 市債残高の推移



※市民1人あたり…各年度3月末現在の住民基本台帳登録人口により計算。  
（「R2予算」のみ、R2年12月末現在のもの）

### 用語の解説

◆借換債 市債の償還年限は、充当した施設の耐用年数等に合わせて設定しますが、それより短い年数で借入れをすることがあるため、残りの償還期間を考慮して償還を均等化するために発行する地方債をいいます。